

“わくわくサポート”たより No14

(福岡市認証 市市1-16号)



NPO法人地域生活・死後事務 安心サポートネット

〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目5番10号 第二井原ビル302号室

Tel:092-791-3251 Fax:092-791-3252

(Eメール) chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp

(ホームページ) <https://chiikiseikatsu-saporto.jimdo.com>

ポストコロナに向けて

NPO法人

地域生活・死後事務安心サポートネット

理事長 中山 千住



「団塊の世代(1947～49年生れ)のおよそ588万人(令和4年統計局人口推計)がすべて75歳以上となる2025年が間近に迫ってきました。

厚生労働省によると、この年は65歳以上の人口が約3,500万人に達し、全人口の21%を65歳以上の高齢者が占める超高齢化社会が到来すると予測されています。国民の3人に1人が高齢者、5人に1人が後期高齢者となる時代です。

国は、「介護予防・日常生活支援総合事業」の中で、2025年を目途に医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現することとしています。

当法人が注目する主な社会環境の変化は、

- ①認知症者数の増加
- ②高齢者世帯の増加
- ③死亡者数の増加
- ④住居(介護施設)

⑤人材不足

などが挙げられます。

このうち①、②、③、④については、「見守り・通院や買い物等の外出支援」、「死後事務委任契約での支援」、並びに「身体能力に応じた居住施設の紹介支援」を、今後とも継続して、依頼者本人の意思を尊重し取組んで行く所存です。

これらの支援は多様で長期にわたりますが、当法人は、本人に対し信頼に応える重大な責任と義務を負っています。このようなご要請にタイムリーに適切に応え、実務を支障なく遂行できるように、勉強会等を通して、会員間の幅広い対応力の向上に努めていきたいと思えます。

ポストコロナに向け、当法人は初心に還って、地域包括支援センターや地域で福祉活動を推進している諸団体との連携を密にし、支援を必要としている方々に、真剣に寄り添って、適切な対応策を継続して講じて行くことにより、更なる地域の福祉増進に寄与して参ります。



第 8 回 通 常 総 会 開 催 報 告

第8回通常総会は令和5年5月21日、福岡市中央区の「あいあいセンター」7階大会議室にて開催されました。総会に先立ち、中山理事長挨拶の後、特定非営利活動法人 高齢者・障害者安心サポートネット森山理事長から来賓挨拶通してメッセージをいただきましたので、祐野理事より紹介されました。（※次ページに全文を掲載しておりますので、是非お読みください。）

総会成立の定足数審査の報告の後、以下の議案の審議に進み、全議案承認可決されました。

第 1 号 議 案 令 和 4 年 度 事 業 報 告 及 び 活 動 決 算 諸 表 の 承 認 の 件

中山理事長から、「本年度は、新たに公正証書による死後事務委任契約を1件受任することができ、また、家財整理処分や事業復活支援金の受給などで大きく収益に貢献しました。しかし、正会員数の伸び悩みによる受注機会の逸失、新型コロナの影響によるわくわくサポート会員交流活動の停滞やフリーマーケットの開催中止など、課題についての認識を新たにしています」

令和4年度 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

科 目	金 額
単位:円	
I 資産の部	
1 流動資産	
(現金・預金)	(8,084,853)
現 金	52,867
普 通 預 金	5,661,247
定 期 預 金	2,370,739
(売上債権)	(95,000)
未 収 金	95,000
流動資産合計	8,179,853
2 固定資産	
無形固定資産	
敷 金	129,000
固定資産合計	129,000
資 産 合 計	8,308,853
II 負債の部	
1 流動負債	
未 払 金	154,686
前 受 金	1,272,400
流動負債計	1,427,086
負 債 合 計	1,427,086
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	5,226,231
当期正味財産増減額	1,655,536
正味財産合計	6,881,767
負債及び正味財産合計	8,308,853

令和4年度 活動計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

科 目	金 額	金 額
単位:円		
経常収益		
【受取会費】	272,000	254,000
【受取寄付金】	142,600	180,000
【事業収益】		
わくわくサポート運営	23,600	38,300
生活支援事業	622,000	773,000
死後事務関係事業	2,885,000	930,000
講演会等講師派遣	22,958	40,000
物品販売事業	0	40,000
(事業収益計)	(3,553,558)	(1,821,300)
【その他収益】		
雑収入	757,379	
その他	70	
(その他収益計)	(757,449)	
(経常収益計)	(4,725,607)	(2,255,300)
経常費用		
【事業費】		
人件費	0	0
業務委託費	605,000	175,000
旅費交通費	635,090	433,000
通信運搬費	11,734	32,000
地代家賃	361,200	361,200
支払手数料	480,350	130,000
その他	262,542	118,800
(事業費計)	(2,355,916)	(1,250,000)
【管理費】		
人件費計	0	0
印刷費	138,328	50,000
旅費交通費	182,000	198,000
通信運搬費	97,643	120,000
地代家賃	154,800	154,800
租税公課	71,000	151,000
その他	70,384	127,000
(管理費計)	(714,155)	(800,800)
(経常費用計)	(3,070,071)	(2,050,800)
当期経常増減益	1,655,536	204,500
当期正味財産増減額	1,655,536	204,500
前期繰越正味財産額	5,226,231	6,881,767
次期繰越正味財産額	6,881,767	7,086,267

と事業報告がなされた後、祐野理事は、令和4年度活動決算諸表について詳細な説明を行いました。

第2号議案 令和5年度事業計画及び活動予算案の承認の件

「今月5月より新型コロナの法的扱いが変更されますが、高齢者の方々には大きなリスクであるということは充分認識しないといけません。その上で、フリーマーケットへの出店活動や地域の福祉団体等との連携によって収益をあげるとともに、わくわくサポートの会の活性化をはかり共益事業として社会貢献につなげていきます」と事業活動方針および事業計画の説明に続き、令和5年度活動予算の詳細なる説明がなされました。



第8回通常総会ご挨拶

NPO法人高齢者・障害者安心サポートネット
理事長 森山 彰



本日NPO法人地域生活・死後事務安心サポートネットの第8回通常総会が、滞りなく開催されましたことを心からお喜び申し上げますとともに、この席上をお借りして、NPO法人高齢者・障害者安心サポートネットを代表し、一言ご挨拶を申し上げます。先ずは、貴法人が、平成28年1月の創立以来、紆余曲折を経ながらも、地域福祉の向上のために尽力して、地域の皆さんから感謝されていることに対し心から敬意を表したいと思います。

ところで、政府は、近年の人口減少、超高齢化、単身世帯の増加による**ひずみ**を是正すべく、すべての住民が、住み慣れた地域において障害の有無にかかわらず、尊厳ある本人らしい生活を継続できるよう、社会全体で支え合いながら、共に地域をつくっていく、「地域共生社会」づくりを強く打ち出しています。

この地域共生社会づくりで最も大切なことは、地域での支え合いによる生活支援であります。貴法人の第1の事業目的は、地域生活における高齢者等に対するサービス支援でありますから、まさに時流にマッチした法人として、地域での活躍が切望される所です。第8波に及び長期のコロナ禍が、当法人と同様、貴法人の活動をも制約してまいりましたが、幸い コロナ禍も終息に向かいつつあります。今後は、従前と同様地域住民のニーズに寄り添っていただき、活発な活動を展開されて、新たな顧客の確保にも注力することを期待しています。

当法人おきまして、生活支援事務や死後事務につきましては、貴法人に委託し、円滑に処理していただき、大変助かっているところであります。後見事務中、存置物の処理、住居の見回り警備、樹木の剪定等の維持管理、死後事務における葬儀、火葬、納骨等で、委託が相当である事務は、今後とも、貴法人に委託する方針は、堅持してまいりますから、よろしく申し上げます。

また、近く久留米地区において、当法人と同じ事業モデルの「NPO法人成年後見安心サポートネット」を創立いたしますので、何かとご支援の程お願いします。

最後に、本通常総会において有意義な審議が行われ、本総会が成功裡に終了されることを期待するとともに、今後における貴法人の益々の充実と発展及び貴会員のご健康を祈念して、私の挨拶とします。

正会員・賛助会員大募集！

高齢者や障がい者のサポートに意欲ある人を募集しています

◆正会員 年会費:1万円 ◆◆賛助会員 1口: 3千円

Tel:092-791-3251 Fax:092-791-3252

Eメール:chiikiseikatsu_0227@yahoo.co.jp

私の少年時代（後編）

昼休みになりました。机のふたを開けた女子が「あっ弁当がない！」と悲鳴にも似た驚きの声を上げました。この光景は月に4、5回起き、午前屋外授業があった後で、盗まれるのは必ず女子でした。彼女は、シクシク泣き出しました。すると担任の大山先生は、慌てた様子も見せずその子を持って出て行きました。そして、すぐに戻って、何事もなかった様に私たちと一緒に弁当を食べられるのでした。食べ終わると、皆で「ご馳走様」を言い、一斉に運動場へ駆けていきました。彼女がどこに連れていかれたのかは分かりません。

犯人捜しみたいなことは一度もありませんでした。今思うとそれで良かったと思います。これも戦後の特殊状況でしょう。空の弁当箱は、校舎の間の雑草が生い茂った花壇で見つかりました。当時の弁当箱は貴重品でした。彼女は大切に持って帰ったと思います。私は、できることなら、彼女に会って当時の気持ちを聞きたいと思いますが、70年という年月が流れてしまいました。名前も思い出せません。

弁当に関してもう一つ思い出があります。昼休みのサイレンと同時に、10人位のクラスメートが弁当を食べずに一斉に運動場へ駆け出し遊びだしました。弁当を持ってくることができない子供たちです。男子も女子もいました。今思うと「貧しかったんだなー、空腹を我慢していたんだなー」とつくづく思います。そんな光景を毎日見ていた私は、当時は何も思いませんでした。

今、私は77歳です。終戦当時は、残酷な事が毎日のように起きていたのです。懐かしいと言っては無礼千万ですが、「あー、あんな時代があったなー」と思い出します。『あー弁当がない事件』は、昭和28年に学校給食法ができたことで解消されました。（中島 信男）

新会員のご紹介

介護は突然やってくるかも！？

昨年、会社の先輩に紹介され安心サポートネット基金の市民後見人研修を受講し、地域生活・死後事務安心サポートネットを知りました。



定年後、第二の人生をどう生きるかを模索する中、取得した資格で遺言や相続案件などで少しでもお手伝いできればと思い入会しました。

さて、2019年国民生活基礎調査（厚労省）によると、介護が必要になった方の原因は、認知症と高齢による衰弱3割に対して、介護が突然やってくる可能性が高いと思われる骨折・転倒と脳卒中などの脳血管疾患も3割弱あります。

最近、フレイル（健康と要介護状態の間の弱っている状態）という言葉聞くようになりました。フレイルの最も大きな原因の一つに筋肉の衰えがあります。

私は、今シルバー人材センターで時々仕事をしていますが、皆さん元気です。そこで知り合った仲間と福岡県内をメインに低山歩きを楽しんでいます。

有酸素運動はコロナ対策として肺を鍛え、足腰の筋肉の衰え抑止になっているようです。低山歩きにご関心のある方はご連絡いただければと思います。（辻 章）

寄付金ありがとうございます

- 匿名希望様 3,000円
- 匿名希望様 20,000円
- 匿名希望様 22,000円
- 匿名希望様 2,600円
- 匿名希望様 3,000円



【編集後記】 中島様2回にわたるエッセーありがとうございます。この文章を読むたびに、土門拳の「筑豊の子供たち」が頭に浮かびました。コロナウイルス感染症は5類に移行されましたが、油断は禁物、お元気で日々お送り下さい。（YY）